



南大東村長
仲田 建匠
なかだ けんしょう

ごあいさつ

南大東村は明治33年(西暦1900年)に開拓、定住が始まり終戦の翌年昭和21年6月に村制が施行され平成18年6月に村制施行60周年を迎えた開拓110年の歴史の浅い島です。

有史以来、さとうきび作を基幹産業とし、“島の砂糖か砂糖の島か南大東キビの波”と南大東音頭の一節でも唄われる甘味資源の供給基地として栄えて今日に至っています。

平成12年度天然記念物活用事業において、小さな島から大きな遺産「南大東島まるごとミュージアム構想」を立案し、島の自然保護と観光振興・特異性の強い自然文化を活かしたエコツアーの構築等今後の観光振興にも期待されています。また、平成元年から建設が進められている第4種南大東漁港は他に例のない画期的な堀込式漁港であり竣工後は周辺で操業する漁船の前線拠点基地として地元水産業を含め漁業振興が大きく発展することと島の名所としても注目をあつめています。

村は村制40周年に未来へ向かって発展する道しるべとして南大東村民憲章を定め鋭意その実現に向けて努力しているところです。今後もさとうきび産業を村の基幹産業と位置づけ間作輪作作物を育てながらの「産業の振興」、豊富な漁場を活かした「漁業の振興」、島の魅力を発信し交流で絆をつなぐ「観光の振興」を図ることを三本の柱とし、さらに福祉が充実し豊かさが実感できる村“安らぎと活力に満ちたフロンティアアイランド”へ邁進するものです。

ここに南大東村の概要や状況を写真や資料で紹介する、村勢要覧を発刊いたしました。ひとりでも多くの方が南大東村の魅力に触れる冊子となれば幸いです。

安らぎと 活力に満ちた フロンティア アイランド

